



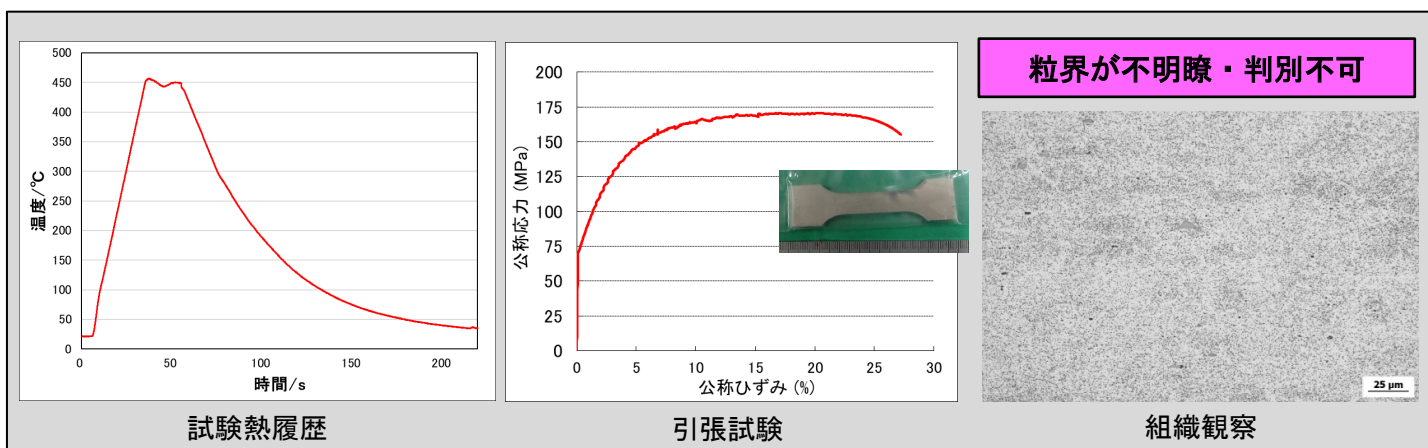
広域EBSDを用いた熱履歴試験後の合金材特性評価

熱履歴試験後の合金材について、結晶方位や粒径分布などの特性を広範囲に評価いたします。

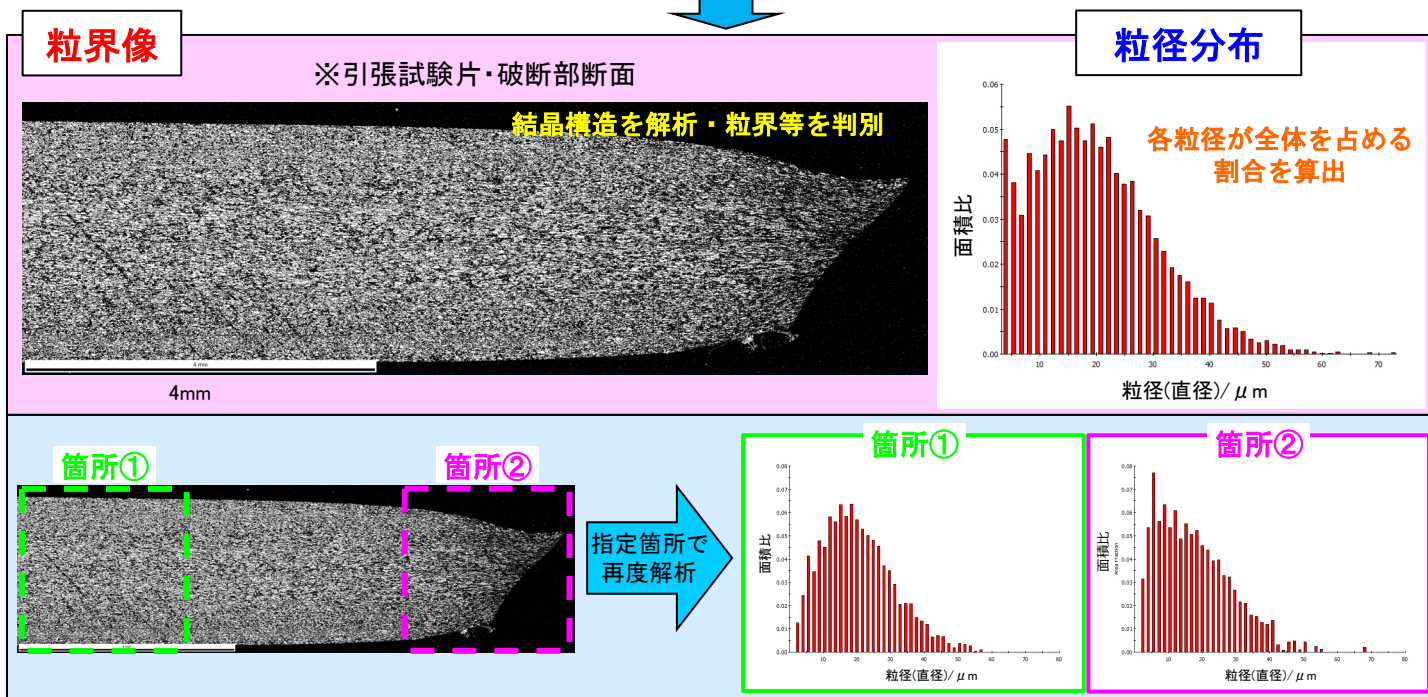
技術の特徴

- 自動車用材料の分野では、アルミニウム合金等、非鉄系合金材の使用や需要が拡大しています。
- 合金材の熱履歴試験後の試験片に対し、引張試験などの機械的特性試験に加え、数mm～十数mmの広範囲でEBSD(電子線後方散乱回折)による解析を行います。そうすることで、光学顕微鏡等では判断しづらい・解析できない粒径の分布や結晶方位分布を評価し、機械的特性と微細構造の相関性を調査できます。
- 広域に測定した結果に基づき、注目したい箇所に限定し再度解析、比較することもできます。

試験例：6000系アルミニウム合金の熱履歴試験



広域EBSD解析



ご希望の箇所で再解析・データの比較が可能！

